



Hola! (オラにニャニ)

オラが町

オリパラ通信 最終回

パラリンピック
東京大会本番へ！
加美町で最終調整

目標達成に向けて

8月8日に来日したチリ選手団。陶芸の里陸上競技場や鳴瀬川カヌーレーシング競技場で最終調整を行いました。

合宿中の天気は長雨や強風続き…。それでも選手は、

大舞台での目標達成に向けて入念な最終調整を行う日々を過ごしました。



▲本番に向けて最終調整

末の間の、リラクセス。

選手は感染症対策のため、練習場と宿泊地を往復するだけの毎日でした。

そんな中、パラリンピック採火式の「種火おこし」や「てるてる坊主づくり」などに挑戦し、競技から離れてリラクセスした時間を過ごしながら体調を整えていました。



▲良い天気になることを願って

決戦の地へ出発！
念願のメダル獲得へ

加美町で約2週間の最終調整を終えた選手は、「また加美町を訪れたい」「我が家のような幸せな時間だった」と笑顔で決戦の地へ出発しました。

大会本番、フランシスカ選手が世界新記録で金メダルを獲得、カテリン選手は悲願のメダリスト(銅メダル)になるなど、各選手が5年間の集大成となる素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。

これからも続く
チリとの繋がりが

東日本大震災を契機とした南三陸町との絆によってホストタウンに登録してから3年。

選手やチリの方々との交流は、障がいや言葉の壁を越えた心のバリアフリーを育むと共に、私たちに希望や勇気を与えてくれました。今後もチリとの友好関係を深め、共生社会実現に向けた「人にやさしいまちづくり」を進めていきます。

メダリストからのメッセージ

フランシスカ・マルドネス選手 金メダル



2週間の直前合宿を受け入れてくれて心から感謝しています。おかげさまで、金メダルを獲得することができました。

加美町の皆さん、ありがとうございます。またいつか再会できることを願っています！またね！

カテリン・ウォーマン選手 銅メダル

Hola!皆さん応援ありがとうございました！
皆さんも、目標を達成するため、夢を叶えるために、諦めずに頑張ってください。

ありがとうホストタウン。また会いましょう！

